

支えあって ふれ合って…

NO.50
2018.March

絆の杜

社会福祉法人 光道園

いよいよ
春を楽しもう



表紙

- 佐藤正吉様インタビュー…………… 2
- 福井豪雪の報告…………… 3
- たねのいえ成人式…………… 4
- 長寿のお祝い…………… 5
- 成人の集い…………… 6.7
- 60周年記念食事会…………… 8.9
- Orientation & Mobility…………… 10
- 光道園の広報の紹介…………… 11
- 陶華星・フクレール広告…………… 12



「ありがとう」の言葉が 頑張る活力になる

ライトワークセンター
佐藤 正吉様 (61)

福井県では平成30年2月、56豪雪以来の大雪に見舞われました。大雪のため、雪かきが進まず、至る所で影響が出ました。そんな大雪の中で、職員と一緒に雪かきを手伝ってくださった一人の利用者の方がいます。その方はライトワークセンターの佐藤正吉さんです。佐藤さんは毎年、雪の時期になるとライトワークセンター横の通路を雪かきしてくださっています。今回は、そんな佐藤さんと対談させて頂き、雪かきをするようになったきっかけや雪かきへの思いを聞かせて頂きました。

Q1. 初めて雪を見たのはいつですか？

「僕は、静岡県磐田市から十九歳のときに光道園に来ました。静岡では雪が降ることはなく、冬の遊びと言えば、体育館でアイススケートを滑ることで、実際に雪に触れたのは福井に来てからです。でも、初めて雪が降っているのを見たときには、雪よりも寒かったことを覚えていて「さみーわー!!」



と思わず叫びました。雪は福井に来てからすぐに大好きになって、他の利用者の方と雪かきをして遊んでいました。」

また、雪にまつわる失敗談を伺うと、「福井に来た最初の頃は、雪が降っているのにスニーカーで出かけてしまい、靴の中にたくさん雪が入ってしまった」と、雪にまつわる苦い思い出もあったそうです。

Q2. 雪かきをするようになったきっかけは？

「雪かきをするようになったきっかけは特別なく、入所してからずっと雪かきをしている。別に、職員の方をお願いされて始めたわけではなく、好きで雪かきをしているうちにいつの間にか日課になっていました。以前は、玄関前だけでなく、駐車場まで一人で空けていた。雪かきを

Q3. 雪かきへのこだわりは？



「雪かきはなるべく早い時間からやりたい。理由は、朝早く雪かきをすると、職員の方が楽に玄関まで来れるから」という佐藤さん。その言葉には職員へのやさしい思いが詰まっていました。また、「雪かきをしたら、職員の方から『ありがとう』と言ってもらえて頑張る活力になる」と話されていました。以前は朝六時から雪かきをしていましたが、雪かきに集中するあまり道に迷ったことがあり、現在では日勤の職員が出動してから雪かきをするようになっている等、安全面にも配慮して楽しんで雪かきを行なっているようです。



毎日の雪かきによってマメができました

Q4. 佐藤さんにとって雪かきとは？

「僕にとっては雪かきは、趣味です。雪かきだけは誰にも譲れない!!」と力強く話されています。日中は陶芸の仕事をしている佐藤さんにとっては、無心で雪かきをする事が良いリフレッシュの機会になっているのかもしれないと思いました。

愛用のスコップを見せました



Q5. 雪かきはいつまでやり続けますか？

「いつまでというのは決めていないけど、何歳になっても元気があるうちはやり続けたい。」と力強く話される佐藤さん。話をする佐藤さんの表情からは、まだまだ続けるぞという気持ちが伝わってきました。

写真・文：企画調整室 森下 幹也



2018 福井豪雪 光道園での報告について

二月五日から八日にかけて日本上空に流れ込んだ非常に強い寒気の影響で、福井県では一九八一（昭和五十六）年に記録した五六豪雪以来、三十七年ぶりの大雪となりました。大雪の影響で、車一五〇〇台が立ち往生するなど、連日、報道でも大きく取り上げられました。

光道園でも、五日未明から降り出した雪は、止むことなく、たくさん雪が降り積もりました。福井県という雪国というイメージもあるかと思いますが、さすがにこれだけの雪は想定外でした。

この日から、連日、園内の非常階段、通路、駐車場確保など利用者の方への支援に影響が出ない範囲で、各施設から職員が数名のチームを組んで、除雪作業に当たりました。今回の大雪は、三十七年前との大きな違いは雪による影響だけではなく、今回の大雪により、車社会の現代では、道路の除雪



チームを組んで屋根の雪を下ろす職員

の影響は、交通面でも大きな影響を受けました。生活面では、物資やガソリンが福井県まで届かない状況となり、大雪がここまで生活に影響を及ぼす事を改めて感じる事となりました。

光道園では、安全性を最優先に考え、デイサービスなど通所の方の送迎が出来ないという事で、営業を休む事となり利用されている方には大変ご迷惑をおかけする事になってしまいました。少しでも通常に戻れるよう、利用者の方のご自宅にお邪魔して、送迎の車が入れるよう除雪作業に当たらせて頂きました。繰り返し、身体も心も疲れ



写真・文：企画調整室 青山 直人

ている事もありましたが、人の温かさにも触れる事ができました。「ありがとう」という言葉が自然と出てくる光景を何度も見受けられました。みんな支えあうというあるべき姿をこの大雪のおかげで見ることができたと思います。

三月に入り、一面、真っ白だった風景に春を予感させる緑が戻ってきました。雪が消えてなくなってしまうても、この雪が教えてくれたことは、私たちの記憶から消えてはいけません。雪がなくても、人の温かさが残るよう、皆が意識していかなければいけません。

光道園としては、今後もこのような災害に対して、まずは利用者の皆さんの生活に影響が出ない事を第一に考え、今回の教訓を生かして、職員一同、万全を期していきたいと思っております。



平成29年度 たねのいえ成人式

～笑い涙の成人式～



平成三十年一月十八日、たねのいえでは恒例行事の一つである「成人式」が行われました。

今年、たねのいえとライトホープセンターを利用されている上山瑛大さんが新成人を迎えられ、両事業所のスタッフ・利用者の方のコラボレーションで、瑛大さんの新たな門出をお祝いさせて頂きました。

オープニングと「お神酒の儀」では、ライトホープセンターの熊谷光春さんがお琴の生演奏をしてくださいました。柔らかなお琴の音色は、厳かな雰囲気を出してくれました。

お母様とのケーキカットや必勝ダルマへの目入れ、久寿玉割りなどのイベントでは、参加者の方々からの温かい拍手と祝福で



会場は笑顔に包まれました。また、お母様から瑛大さんへ宛てたお手紙を読まれた時には、涙を誘う場面もありました。

たねのいえでは毎年成人式がおこなれていますが、企画・開催に当たり、普段とはまた違った形で利用者の方や、ご家族の方と関わらせて頂くことで、新たな一面を知ることが出来ます。また、来賓でお招きさせて頂いた恩師との再会の場面、瑛大さんの成人という節目に立ち合わせて頂き、ありがたいと思います。

瑛大さん、お母様、この度はご成人、本当におめでとうございます。

文：たねのいえ 山崎 昌之
写真：企画調整室 佐々木 裕子 他

長寿を祝う



笑顔の多い年にしたいです。(還暦)

●ライフトレーニングセンター 村上俊也様



大好きな職員と一緒に写真を撮りました。元気で毎日過ごしたい。(還暦)

●ライトホープセンター 仙波あけみ様



還暦を迎えても、色々なことに挑戦し仕事も頑張っていきたいです!

●光ヶ丘ワークセンター太田勝利様



お母さん長生きしてね。(還暦)

●ライフトレーニングセンター豊岡恵子様



今年も元気に頑張ります。(還暦)

●ライフトレーニングセンター吉田恒明様



とってもいい笑顔、おめでとう。(米寿)

●第一光が丘ハウス 濱本オ一郎様



そんなに食べたいかい、わたしは卒寿だぞ!!

●第一光が丘ハウス 前田厚様



「百姓を楽しんでいます。」(米寿)

●第三光が丘ハウス 酒井きよ子様



「あら、恥ずかしい。」(米寿)

●第三光が丘ハウス 小林トシエ様



「もったいのうございます。」
101歳最高齢

●第三光が丘ハウス 山本とよ子様



これからも元気でいたい。
色々な行事や作業頑張りたい。

●ライトホープセンター 竹田カツ子様



傘寿おめでとうございます。これからもイキイキと元気でいて下さい。

●ライトホープセンター堀田数子様

平成30年、光道園では9名の職員が新成人を迎えられました。入職当時書いていただいた抱負や将来の自分へのメッセージを振り返りながら二十歳になった今の自分の思いを話して頂きました。



社会人になって変わったことはありますか？

働き始めて、旅行や県外に旅行やコンサートに行くことが増えました。一人で旅行に行く事もあります。次の目標はロンドンの街を歩いてみたいです。



ライトホープセンター
山崎 千春さん

入社当時は絵を書くことが趣味でしたが、今でも絵は描いていますか？

今は絵はあまり書いてなくて、ダンスをしたりyoutubeを見る事が好きです。ダンスは動画を見ながら家で踊っています。今は、初音ミクやKARAの「GO GO サマー」を練習して踊っています。



ライフトレーニングセンター
伊藤 有末さん

辛いことや楽しいことはありますか？

つらいことは特になく、好きな音楽を聴いたりして、毎日楽しく過ごしています!!



第一・第二光ヶ丘ハウス
伊藤 侑貴さん

目標に掲げていた貯金はたまりましたか？

欲しい物がたくさんあってなかなか貯められませんが、今年から貯め始めました!!目標は100万円貯める事です。



ライトワークセンター
内田 くるみさん

財形すると勝手にたまってくれるからおススメですよ。

大人になり、現実的なお話も…



荒木 博文園長

新しく趣味になった事はありますか？

最近はカラオケにハマっています。この前は友達とカラオケに行き一人40曲歌いました。最近では「米津玄師」などを良く歌います。お酒を飲んでいなくても盛り上げられます!



ライトホープセンター
水島 留偉さん

他にも、イノシシとぶつかって車が廃車になってしまったという衝撃のエピソードもありました

今の若い人はお酒がなくても全然平気。お酒を飲まないのと歌えないのは昭和の人の証ですね。





高校を卒業して働いてみてどうですか？

働き始めて、とても楽しんで仕事をしています。好きな漫画を読んだりして、息抜きもしっかりしています。好きな漫画は秘密です！

ライトホープセンター
西野 悠太さん

2年経って変わったことはありますか？

趣味は大きく変わりました。同じ課の職員と一緒に、ご飯やカラオケに行くなど遊ぶ事が増えました。また、課の中でも先輩・後輩問わず好きな職員が多いので仕事に来るのが毎回楽しみです。毎日仕事をしたいくらいです!! (笑)



ライフトレーニングセンター
石川 優斗さん

仕事を始めて2年が経ちますが、どうですか？

2年目になり、先輩職員とたわいもない話で盛り上がり、後輩とも仲良くなりプライベートで遊ぶなど毎日充実しています。光道園を選んでよかったと思います。友達からも「光道園いいな」と言われます。



ライフトレーニングセンター
小島 有加さん



是非、どんどんお友達を光道園に誘ってあげてください!!

今回の集まりの中で「仕事が楽しい」と言われている方が多く、それぞれ課の中でのやりがいや目標に向かって頑張っていることが伝わりました。また、尊敬する先輩や仲の良い職員の名前も出ていて、身近なところに頼れる先輩や仲間がいる事はとても素晴らしいことだと思いました。最後には、今回のために特別に作成した「ガオー人形 新成人バージョン」をプレゼントしました。

園長からも「やりたい事や勉強したい事はどんどん言ってください」「良い先輩がいて、自分がいて、後輩がいて、来年にはプリセプターとして自分たちがやってきた事や感じた事を後輩たちに伝えていって欲しい」と新成人への励ましの言葉もありました。新成人の皆様、これからも一緒に頑張りましょう!!

祝 成人の集い



好きな事は何ですか？



ライトホープセンター
田中 柚衣さん

身体を動かすことが大好きです。じっとしてられない性格で何かしら動いています。散歩が趣味で家から西山公園まで往復14キロ歩きました。



ガオー人形
(新成人バージョン)

60周年 記念食事会

お祝いとして、各施設で利用者の方と職員と一緒に豪華な食事を頂きました。各施設の栄養士からのメニューの説明をして頂きました。

▶ 光が丘ワークセンター

舟盛りにオードブル。選んで食べて、食べて…ご飯の釜は空っぽになりました!



佐々木栄養士



▶ 第三光が丘ハウス

一人分をお弁当箱に盛り付け、特別感を演出しました。ご飯の釜は空っぽになりました!あまりたくさんの量は食べられないので、質の良いものを少しずつ味わうことができるように工夫しました。



見川栄養士

▶ ライトトレーニングセンター

利用者の方々の目の前で極上のステーキを焼きあげました!



窪田栄養士



山本栄養士

▶ ライトワークセンター

元寿司職人の方が握ったお寿司を皆さん美味しく食べていました。



大橋栄養士



町原栄養士



山下栄養士

▶ ディサービスセンターさざんかホール

これまでのご縁と思い出を胸に、一品一品思いを込めたさざんか御膳です。



兼井栄養士

▶ ライトホープセンター

ホープセンターでは、利用者の方皆さんが大好きな刺身をメインにお祝いメニューを出させて頂きました。



伊藤栄養士



▶ 第一・第二光が丘ハウス

利用者の方が大好きなメニューばかりを用意しました。お腹いっぱい、美味しそうに食べられていました!!



川原栄養士

Orientation & Mobility

オリエンテーション&モビリティ



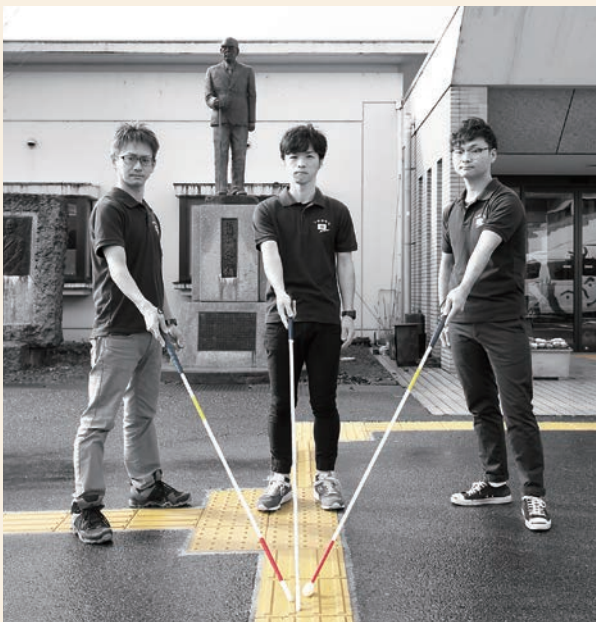
ランドルト環と白杖を組み合わせた歩行訓練士の光道園オリジナルマーク

視覚障害者に歩行などの訓練をする「視覚障害者生活訓練指導員」。一般的に「歩行訓練士」ともいわれており、視覚障害リハビリテーションに関する専門職です。日本歩行訓練士会(事務局：社会福祉法人・日本ライトハウス)によると、視覚障害者の訓練にあたる歩行訓練士は、全国に約五三〇人いると言われています。そのうち、福井県には七名の訓練士がおり、四名は現職で、三名は光道園OB職員です。

視覚障がいがある方に歩行というのは、「目が見えない、見えにくいためには歩けない」というイメージを持たれる

方も多いかと思いますが、歩くための体の機能はなにも失ってはいません。視覚による情報が失われてしまった事で、目的地へ行くための地図を作る(オリエンテーション:Orientation)うえで、現在地の確認、目的地の確認、経路の確認が視覚的に出来ないため、視覚以外の感覚(聴覚、触覚など)を使い確認していく事になります。しかし、視覚以外での情報を使って、「一人で歩く」事に対しての不安の大きさは図り知れません。私たち歩行訓練士は①私はどこにいるのか②目的地はどこか③どのような手段を使って歩くのかという「Orientation & Mobility(定位と移動)」について、視覚以外による感覚を使って情報を得る方法について、サポートしています。

歩行訓練の対象は、希望があれば県内の全ての地域に訪問して、訓練を実施しています。ケースによって、対象者の方の自宅まで、片道三時間ほど要する事もあります。訓練の希望内容は様々ですが、「白杖を持った事もないので...」「自宅



光道園で活動する歩行訓練士

から会社までの通勤ルートを作りた」と様々です。歩くルートの距離や対象者の方の能力などもあるため、訓練にかかる日数も様々です。

『見えなくなると、玄関までわずか数メートルの距離など、身近な生活の場でさえ、不安な場所へと変わる。』

私たち歩行訓練士の役割は、「不安な場所」への移動を「自信」へと繋げるため、中途障がいの方であれば、見えていた生活に少しでも戻れる為のサポートであると思っています。訓練を終えた時、対象者の方の喜びと一緒に

分かち合える瞬間こそが、この歩行訓練の仕事の醍醐味であると思っています。

福井県では、県内の見えない見えにくいことでお困りの方とそごご家族を支援するため、「羽二重ねっと(視覚障がい者支援ネットワーク)」があります。羽二重ねっとは、県内で視覚障がい者を支援している七団体・施設・機関で構成されており、光道園もその構成団体の一つです。光道園の専門性と福祉サービスについて、羽二重ねっとを通じて、知ってもらい、県内の視覚障がいのある方が、安心した生活がおくれるようサポートしていきたいと思っています。

文：企画調整室 青山 直人

見えにくさで、不安やお困りのことはありませんか？



福井県視覚障がい者支援ネットワーク

羽二重ねっと

今年度の広報関係を カレンダーとしてまとめてみました!

平成二十九年度は、広報関係にとっては、「広報元年」と捉えても良いほど、新たな取り組みをしてきました。まずは、「六〇周年ロゴマークの作成」です。このロゴマーク、どうして赤・青・白の三色なのか?疑問に思われた方は、かなりの光道園マニアです。これは、園旗に採用されているカラーを採用しています。今後も、この赤・青・白を光道園カラーとして全面に出していけたらと考えています。

「広報元年」としての大きな目玉は、CMを流した事です。こちらは、前回の絆の杜でも、撮影の様子を紹介しています。「この仕事が好きだ篇」「ありがとう篇」「頼れる仲間篇」「三パターンのCMを流しました。地域の皆さんにも徐々に浸透してきており、最後のトコローえんりのサウンドロゴもまた良い味を出してきてくれています。就活向け学生を目的とした広報では、地元新聞社に光道園広告を掲載しました。コンセプトは、「語り合える仲間」として、平成二十九年度採用の四名の職員をモデルにした写真を掲載しました。その他にも年三回発行の「絆の杜」では、光道園の行事や利用者の皆さんの紹介、また職員紹介記事も掲載するなど、一人でも多くの人に、光道園を知ってもらおうと広報委員が記者となり、取材から編集まで行っています。広報すべてに使えるコンセプトは「光道園の魅力発信!」です。このコンセプトを軸に、来年度も、いろんな形で光道園を知ってもらう機会を作っていきたいと思っています。

文：企画調整室 青山 直人

4月~6月

4月 辞令交付式



5月 人文字撮影(朝日事業所)



7月~9月

8月 光が丘夏祭り

9月 鯖江創立模擬店
中道園長リニューアル像除幕式
60周年記念式典(鯖江饗陽会館)
朝日創立模擬店



10月~12月

11月 文化祭



12月~3月

1月 年賀式



2月 2018福井豪雪



光道園
この一年

広報関係

4月 60周年ロゴマーク決定!



7月 光道園CM放送
~この仕事が好きだ篇~第1弾~



8月 光道園CM放送
~ありがとう篇~



9月 光道園CM放送
~60周年篇~



9月 60周年新聞広告



10月 新聞取材(記念誌)



10月 光道園CM放送
~この仕事が好きだ篇~第2弾~



1月 光道園CM放送
~頼れる仲間篇~



2月 新聞広告



のぞみ工房 陶華星



のぞみ工房 陶華星
 〒916-8585 鯖江市和田町9-1-1
 光道園ライトワークセンター内「陶華星」
 TEL(0778)62-8103
 FAX(0778)62-3775

力向上や新商品開発のために、県の「アドバイザー派遣事業」を毎年利用しています。今年度は「ロクロ成型」のスペシャリストである陶芸家の先生をお招きし、「持ち手つきのコーヒーカーップ」を制作しました。福井県の名物である「越前焼」ばかりではなく、今回は京都府からもその土地でしか取れない粘土を取り寄せて使用しており、越前焼とはまた違った風合いの作品を完成させることができました。是非お買い求め下さい。

光道園ライトワークセンターの「陶華星」です。昨年も多くの皆様から、開運千支「夢戌(いぬ)」をお買い求めいただき、誠に有難うございました。陶華星では、陶芸の技術



さくらあんぱん 120円

手づくり工房 フ・クレール
 〒916-0146 丹生郡越前町朝日1-504
 TEL(0778)34-8801
 FAX(0778)34-8831

春がやってきて、桜の開花が待ち遠しいですね。こんな季節にフ・クレールのこの商品！
「さくらあんぱん」
 これを食べて春を感じましょう。他にもクッキーや焼き菓子などご用意しております。贈答品なども出来ますのでお気軽にご相談ください。

Fu.Clair フ・クレール

社会福祉法人 光道園

社会福祉法人 光道園 法人本部
 鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 ライトワークセンター
 鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 光が丘ワークセンター
 丹生郡越前町朝日22-2-2

障害者支援施設 ライトホープセンター
 丹生郡越前町朝日22-3-1

障害者支援施設 ライトトレーニングセンター
 鯖江市和田町9-1-1

日中生活介護事業 たねのいえ
 鯖江市和田町9-1-1

障害者支援センター こうどうえん
 鯖江市和田町9-1-1

養護老人ホーム 第一光が丘ハウス
 丹生郡越前町朝日22-7-1

養護(盲)老人ホーム 第二光が丘ハウス
 丹生郡越前町朝日22-7-1

特別養護老人ホーム 第三光が丘ハウス
 丹生郡越前町朝日22-7-1

通所介護事業所 デイサービスセンターさざんかホール
 丹生郡越前町朝日22-7-1

訪問介護事業所 ヘルパーステーションさざんか
 丹生郡越前町朝日22-7-1

居宅介護支援事業所 さざんかホール
在宅介護支援センター さざんかホール
 丹生郡越前町朝日22-7-1

越前町障害者支援センター さざんか
 丹生郡越前町朝日22-7-1

共同生活援助事業所 とらいと
 丹生郡越前町朝日1-505

就労支援事業所 フ・クレール
 丹生郡越前町朝日1-504

<https://www.kodoen.or.jp/>

光道園

検索